

# 梅津新聞

(近世編⑤)

2020年  
10月28日 水曜日

常陸太田市郷土資料館  
(西二町 2186)  
TEL:0294-72-3201

### 美しい景色をいつまでも…

文政12年(1829)10月、水戸藩の9代藩主として斉昭が就任しました。そして間もなく、領内の見回りが行われました。これには飢えや貧しさに苦しむ人々を見舞ったり、村の指導者をはげましたりする一方、景色がよい場所を選んで「水戸八景」を設定する狙いがありました。常陸太田市からは2つの景色が選ばれていて、これは西山御殿や水戸徳川家墓所があったことから、当地

を訪れる機会が多かったためと思われ  
ます。

### 水戸藩を救う大改革!

斉昭が藩主に就任した頃の水戸藩は、財政は相変わらず厳しいまま、そして農業は衰退し、身を売る者や子どもを間引きする者が出てくる始末。そんな状況を見た斉昭は、積極的に改革に取り組みました。ここで、斉昭が行った天保改革の一部を紹介しましょう。

### 常陸太田市内の水戸八景

#### 山寺晚鐘

(稲木町・西山研修所敷地内)

碑が建っているのは、僧が修行を積んでいた「三昧堂壇林」の跡地にあたり、暮れ六つ時(午後6時)になると鐘の音が町中に響き渡っていたといいます。



#### 太田落雁(栄町)

かつて、碑が建っている高台からの眺めは、山々の背景に水田地帯が広がる、素晴らしいものだったとい



### ■財政の立て直し 斉昭は、藩内のお金が他の藩に流れないように、「普段使うものはなるべく国産のものを選ぶこと」という国産奨励策をうちだし、製紙・製茶・煙草・こんにやくなどの製造を進め

ました。そして衰退していた農業を再び盛りあげるため、品種改良や新品種導入にも力を入れました。併せて、服や食事などを豪華にせず質素に過ごすようにという質素儉約令もたびたび出されておりました。違反したら罰を与えられました。儉約令は水戸藩の初期の頃から出されておりましたが、今回の改革のものは特に厳しかったと言われています。

### ■天保検地

水戸藩では寛永18年(1641)以降、長年検地が行われていなかったため、台帳に書かれていることと実際の土地の状況がかなり違っていたことから、斉昭は天保10年(1839)に検地を行いました。天保検地の特徴として、寛永検地で短くした間竿が農民の反感を買ったことから、間竿を6尺5寸に定めたことや、耕作のしやすさや水害・干ばつへの対応力などを基準とした土地の位付が以前より細

### 水戸藩ごぼれ話 どれいっ

幕末に爆発的な人気を博した大衆芸能「どれいっ」をご存知ですか? 7・7・5調でうたわれる歌で、「立てば芍薬(7) / 座れば牡丹(7) / 歩姿は(7) / 百合の花(5)」が有名でしょうか。このどれいっの祖と伝えられている都々一坊扇歌は、文化元年(1804)、現在磯部町に生まれました。若くして江戸に上り、その頭の回転の速さから、寄席では即席でどれいっをうたうなどして大喝采を浴びたと言います。しかし当時の社会情勢を批判した歌をうたい江戸を追放されてしまいます。その後は姉の嫁ぎ先である現在の石岡市に身を寄せ、享年48歳でこの世を去りました。常陸太田市では毎年11月、どれいっを広く知ってもらうために「都々逸全国大会」が開かれています。唄・作詞と部門が分かれているので、興味があれば参加してみるのはいかがでしょうか?

立てば芍薬

座れば牡丹



かく設定されたことが挙げられます。

藩校・郷校の設立

斉昭には藩主就任からの夢があり、それが藩の学校(藩校)を設立することでした。...

常陸太田市には天保8年に益習館(中城町)、安政4年に町田郷校(町田町)・小菅郷校(小菅町)が建てられ、特に益習館は、地方医である郷医たちが多く学んだことから、「太田医学館」とも呼ばれていました。

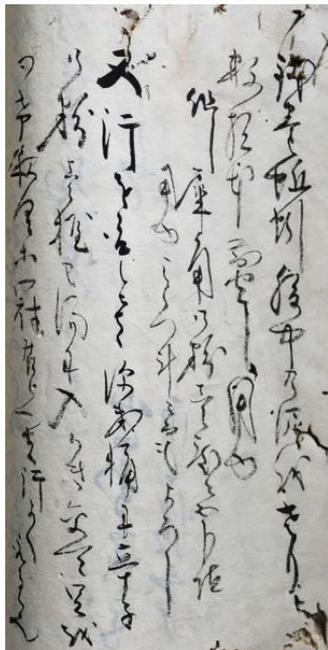
社寺改革

すでに2代光圀が神仏習合を改めるために社寺の整理を行いましたが、この頃はお葬式で酒を出すといった風習が広まったり、無住となったお寺が増えていたことから、...

り、それ以外にも、長年住職がいなかったり僧が戒律※1を破ったりして廃寺になったお寺もありました。...

水戸藩ごほれ話 御用留と水戸藩の医学

江戸時代から明治時代初期のさまざまなことが記録された「御用留」という史料があります。「御用留」とは、御用(公的な命令)を書き留めることから、...



- 一 銭巻蚯蚓腹中の泥をさり
数拾本煎し用ゆ
但し犀角御粉壹度ニ五分位
用ゆ、ミ、つ斗にてもよろし
一 又汗を取候ニは、深き桶に辛子御粉壹握も湯に入かき交て是をつけ、夜具等冠居候へは、汗よくとるゝなり

保13年(1842)の村名変更にまでわたりました。例えば常福地町や東連地町は、もともと「常福寺町」「東連寺町」という字を書きました。「寺」を廃して「地」に改めさせたのです。...

しかし斉昭の行った改革はあまりにも強力だったため、お寺や民衆から強い抵抗をうけ弘化元年(1844)5

Illustration of a woman sitting in a bath and a man drinking water. Text: 銭巻蚯蚓を煎じて飲む (解熱・抗炎症作用がある) 辛子粉をといた湯に足をつける (発汗作用が期待できる)

月、自宅謹慎の処分を受けることになり。これをきつかけに、整理されたお寺の檀家※2や地域住民が声をあげ、復活したお寺もあつたようです。
※1 戒律：仏教における道德的な決まりごとやいましめのこと
※2 檀家：お寺に所属する家のこと。お墓の管理や供養を手厚くしてもらえ

文化財紹介 町田郷校と小菅郷校は、いずれも文武館とも呼ばれており、書を学ぶだけでなく剣術や砲術(火縄銃など)までも学ぶ場でした。小菅郷校の建物は残っていませんが、土塁や、砲術で使われていたであろう矢場の跡が残っています。建物が移築・保存されている郷校はありますが、敷地が当時の様子をとどめている水戸藩の郷校は、ほかにありません。

